

# 立憲民主党、民進党、共産党など政党 と厚生労働省に要請、懇談を実施

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は12月7日、保険で良い歯科医療の実現、歯科診療報酬の引き上げ、歯科技工問題の改善などを求めて、各政党と厚生労働省に要請、懇談をおこないました。

2017年12月7日 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

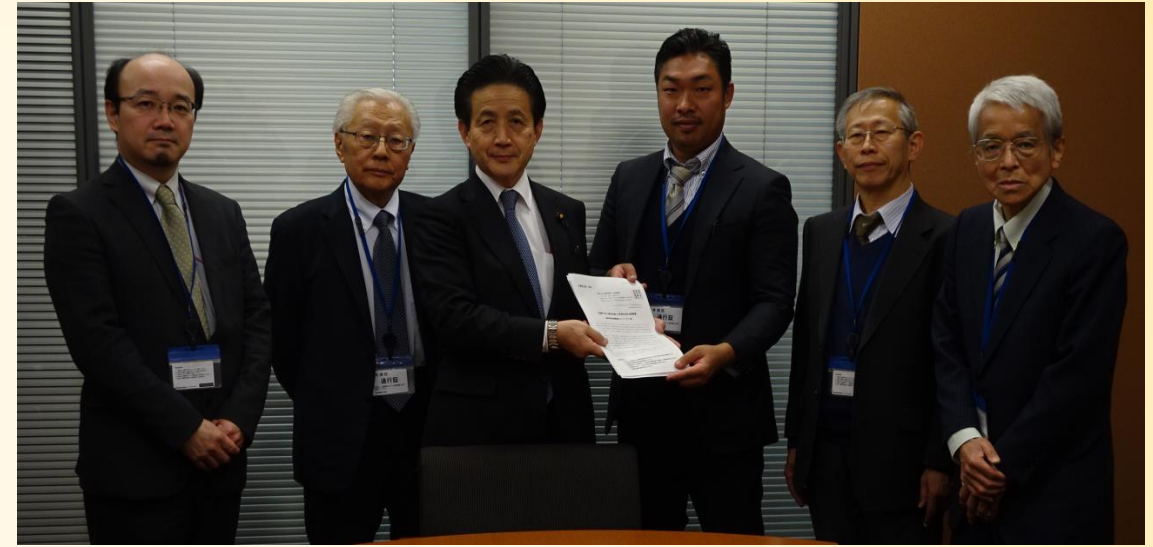
## ■立憲、民進、共産各党に要請し懇談

各党への要請では、立憲民主、民進、共産の3党と面談しました。

要請では、保団連の宇佐美宏歯科代表や全日本民医連の岩下明夫歯科部長ら連絡会の代表が格差と貧困が拡大するなかで、経済的理由で歯科治療が受けられない人々が増加していることを紹介し窓口負担の軽減の必要性を訴えました。また、歯科医療を提供する歯科医師などの歯科医療従事者が長期にわたる低医療費政策のもとで歯科医院の経営も厳しく、歯科技工士、歯科衛生士の評価が低く抑えられていることなどを指摘。その改善のためには、歯科医療費の総枠拡大、歯科診療報酬の引き上げが不可欠であることを訴えました。

連絡会会長で歯科技工士の雨松真希人氏は、歯科技工士の長時間労働、低賃金の実態を保団連が実施したアンケートをもとに紹介し、その改善のための具体的対策を講じるよう求めました。

各党からは、「他の野党とも相談し、診療報酬や社会保障拡充について政府に要請することを相談している」（民進党団体交流委員会部長・田鹿文隆部長）、「厚労省として歯科技工士の実態は調査すべき問題。診療報酬の引き上げ、



立憲民主党への要請で、長谷川嘉一衆議院議員（中央左）と懇談。



日本共産党への要請。左側が宮本徹衆議院議員。

医療費の総枠を拡大することが必要」（共産党・宮本徹衆議院議員）、「昨日初めての質問で歯科技工士の問題を取り上げた。要望はしっかり本部に伝える」（立憲民主党・長谷川嘉一衆議院議員）などと述べられました。

# ■ 歯科技工問題について厚労省と懇談

7日、「保険で良い歯科医療を」全国連絡会は、歯科技工問題の改善を求め厚生労働省と3点について要望し、懇談しました。厚労省からは、医政局歯科保健課の和田康志課長補佐、古殿恵子歯科衛生係長、保険局医療課の大平貴士主査が対応しました。

## 【連絡会からの要請概要】

1, 歯科技工士の低収入長時間労働の実態をふまえて、改善のための施策を早急に行う

2, 実態調査の実施と、ダンピング問題と無資格者による歯科技工物の製作へのかかわりについて

- ・ 歯科技工物（CAD/CAMを含む）製作において無資格者の係れる範囲はどのような作業でしょうか？
- ・ 大手歯科技工所を中心とする無資格者の就労状況はどのように把握されているのでしょうか？

3, 積算による製作技工・保険点数の決定プロセスの確立と、実効性ある委託技工の取引ルールの明確化をはかってください。

厚労省からは「歯科技工士の人材不足は喫緊の課題」との認識を示した上で、厚生労働科学研究として今年度150万円の予算で今月に歯科医院750軒と歯科技工所4000軒を対象に、歯科技工所の労働実態、製作歯科技工の委託の実態を調査・分析し、効率化を促す業務モデルと適切な委託のマニュアルを作成することを検討しているとしました。

歯科技工の資格を必要とする範疇については、個々の行程ごとによる法の対象であるか否かを明確にするのは困難であるものの、「最終的に製作された補綴物に影響を与える」内容に関しては一般論として業務の範疇として考えられるとし、無資格者の技工については、無届けの歯科技工所の問題とあわせて、担当者会議等で改めて周知するとしました。

取引ルールの明確化に関しては、来年度は厚生労働科学研究の中で、マニュアルの策定をすすめることとしました。

